



## 2022年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東  
 コード番号 3747 URL https://www.itrade.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年9月期第3四半期の連結業績(2021年10月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	1,438	△8.1	131	18.3	△0	—	93	△0.2
2021年9月期第3四半期	1,564	13.7	111	—	△38	—	93	—

(注) 包括利益 2022年9月期第3四半期 94百万円(△1.7%) 2021年9月期第3四半期 95百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	13.03	—
2021年9月期第3四半期	13.05	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	1,473	1,210	81.6
2021年9月期	1,452	1,115	76.4

(参考) 自己資本 2022年9月期第3四半期 1,202百万円 2021年9月期 1,109百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年9月期	—	0.00	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050	△5.0	196	△10.7	17	△24.0	111	△44.9	15.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期3Q	7,444,800株	2021年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	2022年9月期3Q	259,200株	2021年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期3Q	7,185,600株	2021年9月期3Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」、機能性食材であるハナヒラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」の3つです。

前第3四半期連結累計期間（以下、前第3四半期）及び、当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2021年9月期 (前第3四半期)		2022年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	1,564	100.0	1,438	100.0	91.9
金融ソリューション事業	1,275	81.5	1,173	81.6	92.0
ビジネスソリューション事業	190	12.2	159	11.1	83.7
ヘルスケア事業	99	6.3	105	7.3	106.9
営業利益	111	—	131	—	118.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	93	—	93	—	99.8

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第3四半期の業績は、ヘルスケア事業で増収となったものの、主力の金融ソリューション事業やビジネスソリューション事業の減収により、売上高は前年同期に比べ126百万円減少し1,438百万円となりました。また、利益面では開発の内製化、コスト削減に努めた結果、営業利益は前年同期111百万円から131百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法適用関連会社である株式会社デジタルアセットマーケティング（以下「デジタルアセットマーケティング」）の持分法による投資損失を計上したものの、持分変動利益を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年と同水準の93百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

## (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	1,173百万円（前年同期比 92.0%）
セグメント利益	401百万円（前年同期比 101.0%）

当第3四半期においては、売上高は1,173百万円と前年同期比92.0%の減収、セグメント利益は、減収となったものの開発の内製化により前年同期比101.0%の401百万円となりました。

第2四半期連結会計期間に、デジタルアセットマーケティングにおいて本格稼働した『Spider Digital Transfer』の保守を継続しながら、新たに特許も取得し、デジタル金融の新たな時代に向けての準備も進めてまいります。

## (ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業の業績は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	159百万円（前年同期比 83.7%）
セグメント損失	14百万円（前年同期は1百万円のセグメント利益）

経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@IT e2』の新規導入や追加開発案件が前年同期に比べ少なかったため

に、売上高は前年同期比83.7%の159百万円となりました。損益面では、減収の影響により、前年同期1百万円のセグメント利益から、14百万円のセグメント損失となりました。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	105百万円 (前年同期比 106.9%)
セグメント損失	34百万円 (前年同期は53百万円のセグメント損失)

当第3四半期の売上高は前年同期比106.9%の105百万円と増収となりました。増収の影響及び継続した経費削減効果により、セグメント損失は34百万円となり前年同期53百万円のセグメント損失より改善しております。

2022年4月14日に公表したとおり、学術誌「応用薬理」に「女性の更年期における不快症状を緩和するはなびらたけの有効性および安全性の評価」についての論文が掲載された効果もあり、大手健康食品メーカーからの『ITはなびらたけ』の引き合いも増え、更なる売上拡大のための準備を進めております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産額（負債純資産合計額）は、前連結会計年度末に比べ20百万円増加し、1,473百万円となりました。自己資本比率は81.6%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は384.1%となっています。

#### (資産)

資産合計1,473百万円の主な内訳は、現金及び預金787百万円（構成比53.5%）、受取手形、売掛金及び契約資産166百万円（構成比11.3%）、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）67百万円（構成比4.6%）、投資有価証券213百万円（構成比14.5%）となっています。

前連結会計年度末の資産合計1,452百万円より20百万円増加しており、その主な増減要因は、現金及び預金が178百万円増加しているものの、受取手形、売掛金及び契約資産が152百万円減少していることによるものです。

#### (負債)

負債合計262百万円の主な内訳は、短期借入金100百万円（負債純資産合計に対する構成比6.8%）、買掛金63百万円（負債純資産合計に対する構成比4.3%）となっています。

前連結会計年度末の負債合計337百万円より74百万円減少しており、その主な増減要因は、買掛金の減少21百万円、未払法人税等の減少34百万円によるものです。

#### (純資産)

純資産合計1,210百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,177百万円、自己株式△95百万円、非支配株主持分6百万円となっています。

前連結会計年度末の純資産合計1,115百万円より94百万円増加しており、その主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の獲得による利益剰余金の増加93百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年2月25日付公表「当社持分法適用関連会社の出資受け入れ及び特別利益（持分変動利益）の計上見込み並びに業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更ありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	608,898	787,881
受取手形、売掛金及び契約資産	318,977	166,942
商品及び製品	11,735	16,021
仕掛品	31,316	45,215
原材料及び貯蔵品	6,473	6,181
その他	51,507	52,524
貸倒引当金	△256	△256
流動資産合計	1,028,653	1,074,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,320	5,308
工具、器具及び備品（純額）	30,076	21,000
リース資産（純額）	21,949	13,752
有形固定資産合計	58,346	40,061
無形固定資産		
ソフトウェア	6,287	7,894
その他	364	364
無形固定資産合計	6,652	8,258
投資その他の資産		
投資有価証券	221,761	213,356
繰延税金資産	10,050	8,714
敷金及び保証金	124,370	124,370
その他	14,454	15,700
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	358,786	350,290
固定資産合計	423,785	398,610
資産合計	1,452,438	1,473,121

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	85,149	63,390
契約負債	13,177	19,681
短期借入金	100,000	100,000
リース債務	12,080	12,395
未払法人税等	42,386	8,360
その他	58,867	44,753
流動負債合計	311,661	248,580
固定負債		
リース債務	12,601	3,265
退職給付に係る負債	8,683	9,190
その他	4,224	1,848
固定負債合計	25,508	14,303
負債合計	337,170	262,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	996,567	996,567
利益剰余金	△1,270,943	△1,177,335
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,109,025	1,202,634
新株予約権	-	742
非支配株主持分	6,243	6,860
純資産合計	1,115,268	1,210,237
負債純資産合計	1,452,438	1,473,121

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,564,805	1,438,608
売上原価	1,061,888	904,690
売上総利益	502,916	533,918
販売費及び一般管理費	391,902	402,550
営業利益	111,013	131,368
営業外収益		
受取利息	438	3
受取配当金	66	1
雑収入	133	165
助成金収入	4,009	-
その他	41	65
営業外収益合計	4,689	235
営業外費用		
支払利息	1,374	955
持分法による投資損失	153,186	130,937
その他	9	20
営業外費用合計	154,570	131,913
経常損失(△)	△38,867	△309
特別利益		
持分変動利益	156,703	118,167
投資有価証券売却益	66	-
特別利益合計	156,769	118,167
税金等調整前四半期純利益	117,902	117,858
法人税、住民税及び事業税	19,806	22,295
法人税等調整額	2,217	1,336
法人税等合計	22,023	23,632
四半期純利益	95,878	94,226
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,075	617
親会社株主に帰属する四半期純利益	93,803	93,608

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	95,878	94,226
四半期包括利益	95,878	94,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,803	93,608
非支配株主に係る四半期包括利益	2,075	617

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。また、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示しています。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融ソリュー ション事業	ビジネス ソリューション事 業	ヘルスケア 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,275,499	190,255	99,049	1,564,805	—	1,564,805
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	54	54	△54	—
計	1,275,499	190,255	99,104	1,564,859	△54	1,564,805
セグメント利益又は損失 (△)	397,202	1,221	△53,271	345,152	△234,138	111,013

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△234,138千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融ソリュー ション事業	ビジネス ソリューション事 業	ヘルスケア 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,173,434	159,287	105,886	1,438,608	—	1,438,608
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	56	56	△56	—
計	1,173,434	159,287	105,942	1,438,665	△56	1,438,608
セグメント利益又は損失 (△)	401,026	△14,692	△34,313	352,020	△220,651	131,368

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△220,651千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。